

心も体も あったかスープ祭

in 桐生若人の広場

活動日時： A…12月2日(土)

B…12月3日(日)

活動プログラム：

午前	集合・挨拶	おはようございます。今日は野外炊飯を行うよ。レシピや一日の流れを一人ずつ順番に聞き、その内容をグループのみんなに伝えてね。寒くなってきた今にぴったりのあったかスープを完成させよう。
	話し合い 買い出し	持ってきた食材を確認しよう。食材が被っていなかったらスペシャル食材がもらえるよ！食材確認の後にはどのようなスープを作るかを考えよう。今回は作るスープは二つだよ。味付けを決めたり、役割を分担したり、やること盛り沢山だから手分けして進めよう。
	スープ作り	役割が決まったらそれぞれ作業を進めていこう。“かまど係”はスープの下準備を終えるまでに火をつけることが出来るかな？しっかり煮込めるように枝や薪を拾い集めるよ。時々鍋の蓋を開けて煮込めているかの確認も必要だね。
	完成！！ いただきます	スープが完成したら発表会を行おう！スープの名前とどんな内容なのかを発表しよう。お皿に盛り付けたいいただきます！！あったかスープを堪能しよう！他のグループのスープも味見してみよう。
午後	片付け	ごちそうさまの後にはもうひと頑張り。みんなで手分けして、使った器材をキレイにしよう。水が冷たいけれど最後まで気合いで頑張りよう！
	振り返り まったねえ	今回の野外炊飯は、一人一人が聞き取ったメモをグループに伝達して作業を進めていたね。メモを正確に取ることも、みんなに分かりやすく伝えることも大切だね。『伝える、実行する』を継続してこれからもチャレンジしていこうね！また来月、まったねえ～。



<全体感想>

今回のスープ作りは、あらかじめレシピを配布せず、一人ずつ順番にレシピや注意事項を聞き、メモを取り、そのメモを口頭でグループに伝えていただきました。自分の順番が回ってくると、責任を持ってメモを取り、伝達される姿が伺えました。中には難しい内容がありましたが、ご自身なりに理解して、みんなに伝えておられました。その時は責任感が芽生え、発言・行動に移せているものの、時間が経てばその意識が減っていき、なんとなくその場の雰囲気で行動されている姿が見受けられました。そのような時こそ「今は何をすべきだろう？」と自分達で声を掛け合えると、個人の意識やグループの雰囲気をプラスの方向に向けることが出来ると感じています。その声掛けは高学年が率先して行わなければいけないわけではありません。一人一人が少しずつ意識して、活動をより良いものにしていきましょう。2024年もわらべの活動を通して、沢山の出会いとメンバーの成長を楽しみにしています。今後どうぞよろしくお願い致します。

(藤木 将孝)